



左より、警察庁舎・行政庁舎・議会庁舎
撮影 平成14年2月

新県庁舎建設は、高齢者や障害を持つ方々をはじめ、誰もが安心して利用できる「人にやさしい県庁舎」・地球環境や地域環境にも十分配慮した「環境にやさしい県庁舎」・阪神淡路大震災規模の地震にも耐えうる「災害に強い県庁舎」を掲げ、建設を進めています。

「人にやさしい県庁舎」

バリアフリーの徹底を図り、誰もが安心して利用できる庁舎

利便性が高く、健康づくりや憩いの場として親しみの持てる庁舎

「環境にやさしい県庁舎」

都市・地域・地球環境に配慮した庁舎

省資源、省エネルギー、リサイクルを徹底し、ライフサイクルコストの削減や環境負荷の低減を図った庁舎

「災害に強い県庁舎」

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、信頼性、安全性を高めた庁舎

広域防災の拠点として機能するための設備システムを備えた庁舎

今後、新県庁舎を核に、駅西副都心形成・環日本海の中核県に相応しい県都づくりを進めるとともに、県政100年の大計に立ち、本県の発展を担う県政の拠点、広域防災の拠点として、また森の中の県庁として長期間にわたり県民に親しまれる庁舎とし、21世紀に飛躍する、“いしかわ”のシンボルを目指して工事の進捗に努めています。

DATA

金沢市南新保町地内

平成14年11月完成予定

延 102,053㎡

(警察庁舎) S造：地上 8 F、地下1F 延 23,009㎡

(行政庁舎) S造：地上19F、地下2F 延 66,762㎡

(議会庁舎) SRC造：地上 4 F、地下1F 延 12,282㎡